

今回は、今なお続く電子部品の価格高騰の続報と商社様からの通知についてお伝えします。

電子部品の調達状況

2021年の早い時期から一部の電子部品で供給悪化がはじまっており、当時は一過性の問題と見られておりましたが、その後の世界的なコロナのまん延、火災や自然災害による影響で半導体生産が滞る一方、巣籠り需要で電子部品需要が高まり、品不足に拍車をかける悪循環が続いております。さらにウクライナ、ロシア情勢により半導体製造に必要な原材料の不足も発生しております。結果として今現在も IC、CPU、メモリーなどを始め各電子部品、およびそれらを搭載した製品の調達は困難な状況です。ウエハー不足、シリコン不足、貴金属の不足、そしてプラスチックの供給不足は直近での改善は期待できず、回復の見通しが立っておりません。部品によっては 100週以上のリードタイムが必要となる場合もあります。また、仕入れ先メーカー様より出荷されるタイミングにならないと価格・納期および数量が確定出来ない事例も発生しています。

電子部品の価格高騰

供給不足を受けて需要が勝っていることと急速な円安進行により商社様から価格見直しに関する通知が数多く届いています。

[価格高騰の主な理由]

- ▶ 製品に使用する原材料(金属製材料、樹脂製材料)の価格が昨年来高騰を続けている
- ▶ 原燃料(主に、天然ガス、原油、石炭、鉄鉱石など)が高騰している
- ▶ 物流関連費用の高騰
- ▶ 生産コストの増大
- ▶ 円安が急激に進行しており海外から仕入れる材料価格に影響大

[最近弊社で受けた価格変更通知の事例]

部品	価格上昇率	部品	価格上昇率
各種IC	10%~20%	プリント基板(生基板)	10%~15%
DRAM	10%~20%	日立金属製UL線材	10%~15%
各種コネクタ	10%~15%	ケーブル類	10%~20%
抵抗・コンデンサ	10%~20%	各種チューブ	10%~15%
トランジスタ、ダイオード	10%~15%	アルミニウム筐体	10%~15%
リレー、スイッチ	10%~20%	梱包副資材(エアキャップ)	10%~15%

部品や製品により幅はありますが、10%~20%前後の値上げ通達です。商社様からは次のようなお話をお聞きしております。

『交渉の余地もなく受け入れざるを得ない状態です。既に発注済みの部品や製品についてもある期日から突然値上げされ、値上げ後の単価で納品されてくる状況です。今までは、価格転嫁を控え、可能な限り自社での吸収に努めてきたが、想定を超える外部環境の悪化で自助努力も限界に達しています。現状価格のままだと今後の事業の維持継続が困難な状況です。』

『適正な価格で調達し、適正な価格でお客様に提供させて頂きたいのですが、こういった値上げ基調から逃れられない現状です。』

『自社だけで吸収しきれない程のコストアップがあった場合、都度お取引先様にご相談させて頂いております。ご理解とご協力をお願いします。』

今年の1月にも、部品価格の高騰についてお伝えしましたが、半年が過ぎた今でも状況は変わっていません。調達コストの増大は弊社のような電子機器製造業だけではなく、製造業界全体で深刻な問題になっています。引き続き情報収集に努めて参ります。

[後記]

家庭生活においても、値上げラッシュが続いており7月は食料品の中でも小麦粉や食用油の値上がりが目立ちます。また、電気代やガソリン、ガス代も値上っています。電気代が高い今年は、クーラーをできるだけ使わないで過ごす人も多くなるかも知れませんが、「室内熱中症」も増えているとのこと。屋外でも室内でも熱中症には注意が必要です。